

## 第46回八戸白鷗ライオンズ杯争奪

### 青森県中学校アイスホッケー大会 要項

- 1 主催 八戸白鷗ライオンズクラブ 青森県アイスホッケー連盟
- 2 共催 八戸市中学校体育連盟
- 3 主管 八戸市中学校体育連盟 アイスホッケー競技部
- 4 会場 テクノルアイスパーク八戸
- 5 期日 令和5年1月4日(水)～1月8日(日)  
①開会式日程・・・開会式は行わない。  
②競技日程・・・令和5年1月4日(水)～1月8日(日)
- 6 参加資格 (1) 参加者は、都道府県中学校体育連盟加盟の中学校に在籍する生徒で、校長および都道府県中学校体育連盟会長が参加を認めた者とする。  
(2) 年齢は、平成19年4月2日以降に生まれた者に限る。
- 7 監督及びコーチ 監督は当該校の教職員・部活動指導員とする。  
「部活動指導員」は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者であり、学校設置者により任用されている者を言う。  
ただし、部活動指導員は教育委員会設置要項のもと、以下の条件を満たしていなければならない。また、中学校体育連盟が主催する大会(予選を含む)で登録できる学校は1校のみであること。  
①満20歳以上であること。  
②主催者からの要望があった場合、大会運営に協力する姿勢があること。  
③次のいずれかに当てはまる者とする。  
ア 教育職員免許状に基づく免許を有するもの。  
イ (公財)日本スポーツ協会公認スポーツ指導資格を有するもの。  
ウ 自治体(含む教育委員会)、体育(スポーツ)協会、中学校体育連盟のいずれかが主催する研修会を受講している者。  
外部コーチは、校長が認めたものとする。ただし、中学校教職員・校長・部活動指導員が他校の外部コーチとしてベンチに入ることは認めない。  
部活動指導員が監督、引率をする場合は、教育活動の一環としての大会であることの観点から、「校長・顧問または当該部活動を担当する教職員」がチームに帯同すること。

本大会に出場するチーム・選手の引率者・監督・外部指導者(コーチ)・トレーナー等は、運動部活動指導中における暴力・体罰・セクハラ等により任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとする。

なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。

- 8 参加制限 プレーヤーズベンチに入る者は選手 22 名以内 (GK 2 名以内, プレイヤー 20 名以内), 監督・コーチ・マネージャー等は 4 名以内とする。(新型コロナウイルス感染症対策の観点から, コーチは必要最低限の人数が望ましい。) 合同チーム, 選抜チームを認める。監督は教員とし, 合同チームは代表教員とする。
- 9 参加料 1 チーム 40,000 円  
※大会当日に納入する。
- 10 申込み 令和 4 年 12 月 16 日(金) 17:00 まで  
大会参加申し込みのデータとメンバー表, チーム写真(ユニフォームを着用した集合写真)を北稜中大前へメールで提出する。メンバー表のみを第二中種市先生へメールで提出する。  
※職印を押印した申込用紙と参加料を大会当日提出する。
- 11 抽選会 第 73 回青森県中学校体育大会冬季スケート・アイスホッケー競技大会 アイスホッケー競技の後, 臨時顧問会議を開き抽選を行う。
- 12 競技方法
- ・ トーナメント法 (3 位決定戦を実施する。) とする。
  - ・ (公財)日本アイスホッケー連盟競技規則及びローカルルールを併用する。
  - ・ 試合時間は各ピリオド正味 20 分, インターバル 10 分とする。
  - ・ 第 3 ピリオド終了後同点の場合は, 5:5 の PSS により勝敗を決するものとする。なおもしも決しない場合は, 1 名ずつのサドンビクトリー方式による PSS (先攻後攻が逆転)。
  - ・ 選手が 10 名以下でも大会に出場できる。ただし, 試合進行のために必要な人数を氷上に揃えることができなくなった時点で没収試合とし, 0 対 15 で当該チームの敗戦とする。
  - ・ 組合せ表左側のチームを仮ホームチームとし, オフィシャル席からみて左側のベンチを使用する。また, 試合開始前に主審によるバックトスにてホームチームを決定する。
  - ・ 選手として登録している選手が, 怪我等により出場はできないがベンチに入る場合は, ユニフォーム, ヘルメットを着用する。ただし, 防具は着用しなくてもよい(選手扱い)。
  - ・ マネージャー等でスタッフ登録をしている生徒がベンチに入る場合は, ヘルメットを必ず着用すること(スタッフ扱い)。
  - ・ メンバーの変更がある場合は, 試合開始 1 時間前までにメンバー表をオフィシャルまで提出する。
  - ・ 合同チームのユニフォームは統一したものにする。
- 13 表彰
- ・ 優勝校には優勝杯, 賞状, メダルを授与する。
  - ・ 準優勝校には賞状, メダルを授与する。
  - ・ 3 位入賞校には賞状を授与する。
- 14 健康管理 大会参加者の健康管理については, 関係者一同, 十分注意しなければならない。もし, 事故の生じた時は, 開催地大会事務局を通して, 八戸市中学校体育連盟会長へ細大もらさず報告し, その指示を受けるものとする。

## 15 新型コロナウイルス感染症対策について

### (1) 参加制限等について

- ① 保健所の疫学的調査において選手、監督、コーチ本人の感染が確認されている場合、あるいは感染が疑われ PCR 検査等の検査中の場合は、当該選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
  - ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合、あるいは同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合は、当該選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
  - ③ 競技会開始日から過去 7 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航または当該在住者との濃厚接触がある選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
  - ④ 何らかの症状・体調不良(37.5 度以上の発熱、咳、咽頭痛、風邪の症状、倦怠感、味覚・嗅覚異常等)が数日間続いた場合、また当日このような症状がみられる選手、監督、コーチの競技会への参加・競技会場への入場を認めない。
  - ⑤ 参加選手、監督、コーチ、大会役員は、競技会開始日から 7 日前からの健康観察を行い、「体調管理チェックシート」に記録する。各校の監督(合同チームは代表監督)が、競技会開始日に全選手、監督、コーチ、大会役員のチェックシートを提出する。
  - ⑥ 競技会終了後 7 日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。
- ※ 医師にコロナウイルス以外と診断された場合やインフルエンザ等が回復した場合は選手、監督、コーチの競技会への参加を認める。

### (2) 観客、報道関係者について

- ① 観客は参加選手の家族のみとし、以下の措置をとる。
  - ア 試合毎に観戦者名簿を作成する。各校の監督(合同チームは代表監督)は、試合当日に「試合当日観戦者一覧」を競技会事務局に提出する。
  - イ 受付を設置し(感染予防措置を十分にとる)、入場時の名簿チェック、検温を実施するとともに、マスクの着用の義務付け、手指消毒、距離確保や大声での応援の制限等、各競技会場・施設の注意事項・遵守事項を踏まえた感染防止のための協力を観客に対し要請する。
  - ウ 家族で観戦する際に、小さなお子さんは保護者のそばにおいて、目を離さないようにする。
- ② 競技会場内に感染予防のための留意事項や注意事項などを掲示する。
- ③ 一般観客の入場を制限している旨、競技会場入り口に掲示する。
- ④ 報道関係者については「報道関係者一覧」により、試合毎に所属、氏名を記録するとともに検温を実施し、観客に対するものと同様に感染防止のための協力を要請する。

### (3) 参加選手・監督・コーチ・チームに対する措置

- ① 基本的な感染防止措置の徹底
  - ア 入退館時のマスク着用、手洗いや手指消毒液による消毒を指導する。消毒液については、競技会場に設置しているが、競技会事務局、各校でも準備する。
  - イ 大きな声での会話、応援、声出し等を制限する。
  - ウ プレーヤーズベンチ内の監督、コーチ、役員はマスクを必ず着用する。
  - エ ベンチ入りしない選手はマスクを必ず着用し、十分な距離をとって観戦する。
  - オ ボトルやタオルなどのチーム共有物は、チーム管理から個人所有の物に変更する。
  - カ ホワイトボードやマーカーについては、個人所有の物を使用する。
- ② 選手控室、プレーヤーズベンチの使用にあたっての注意事項
  - ア 控室を使用したミーティングは試合前と試合後の 10 分程度で行う。
  - イ ゴミについては、個人で持ち帰り自宅にて処分する。
- ③ レフェリー委員会との調整事項  
試合開始時の用具チェック・挨拶、プレーデット時のパックの取り扱いその他、既存のルールに規定がない注意事項についてあらかじめ確認のうえ、各チームに通達し徹底を図る。

(4) オフアイス・オフィシャル

- ① 出場選手、監督、コーチの取り扱いに準ずる。オフアイス・オフィシャル従事者は「試合当日体調チェック観察票」を競技会事務局に提出する。
- ② 基本的な感染防止措置の徹底
  - ア 入退館時の際の手洗いや手指消毒液による消毒を行う。
  - イ 従事する際はマスクを必ず着用する。大会本部などは窓の開放や機械換気により換気を行う。
  - ウ 上記室内のデスク、イス、ホワイトボード、マーカー、ハンガー、直接手の触れる箇所のこまめな消毒を行う。
  - エ オフィシャル内はアナウンサー、タイムキーパー、ペナルティータイムキーパーのみにする。他は、別の場所に設置する。各種スイッチ類など直接手の触れる箇所のこまめな消毒を行う。ソーシャルディスタンスの観点から1m空けて座るよう努める。
  - オ 得点者の伝達方法など、レフェリーとのコミュニケーションが必要な際は、十分な距離を取ったうえで行うほか、紙やホワイトボードでの伝達を使い飛沫対応を行う。
  - カ ペナルティーボックスアテンダントは、ペナルティーボックス外で待機し、扉の開閉時(ペナルティー終了時は10秒程度前)にペナルティーボックスへ入室する。また、得点後の選手の退室時もペナルティーボックスアテンダントが扉の開閉を行う。

(5) 開・閉会式、表彰式は、これを行わない。

(6) その他

- ① リンクの感染予防対策マニュアルを遵守して、競技会を運営する。
- ② 新型コロナウイルス感染状況の推移や緊急事態宣言の発令等によっては、急遽、予定の変更や競技が中止となる場合もある。

- 16 その他
- ・ マウスガードの正しい着用、ユニフォームの着方(お守り等含む)、あご紐の長さ、ネックガードの着用、フェイスガードストッパーの指導。
  - ・ ゲームオフィシャルへの言動の指導。
  - ・ 施設利用のマナー指導。
  - ・ 選手の行き帰りに関して各中学校で体制を整える。
  - ・ 一般生徒の応援は控えさせる。

17 タイムテーブル

第1試合						
練習	整氷	第1ピリオド	休憩 (整氷)	第2ピリオド	休憩 (整氷)	第3ピリオド
10分	10分	20分	10分	20分	10分	20分

※練習は試合開始の25分前に開始します。

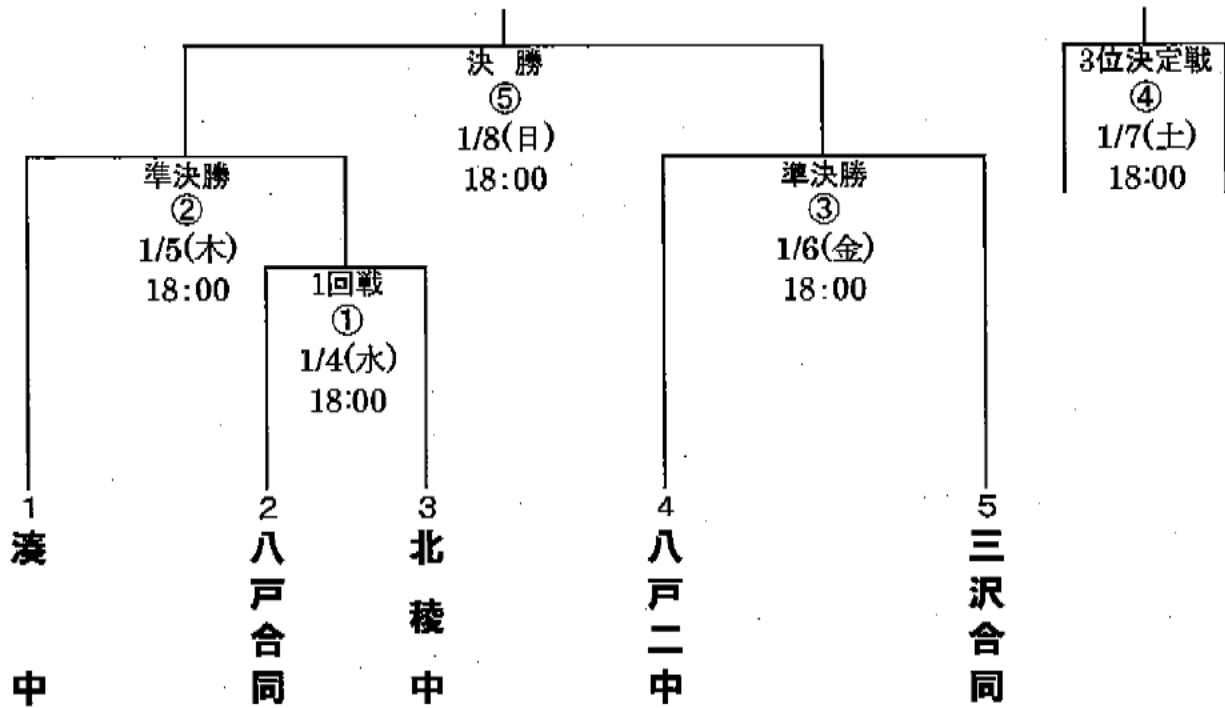
- 18 組み合わせ 別紙参照。

第46回八戸白鷗ライオンズクラブ杯争奪 青森県中学校アイスホッケー大会

期 日：令和5年1月4日(水)～1月8日(日)

会 場：テクノルアイスパーク八戸

【 組 合 せ 】



① 1回戦

	I	II	III	計
八 戸 合 同				
北 稜 中				

② 準決勝

	I	II	III	計
湊 中				
①の勝者				

③ 準決勝

	I	II	III	計
八 戸 二 中				
三 沢 合 同				

④ 3位決定戦

	I	II	III	計
②の敗者				
③の敗者				

⑤ 決勝戦

	I	II	III	計
②の勝者				
③の勝者				